

2022年1月31日

三田市長 森 哲男 殿

三田市教育委員会教育長 鹿嶽 昌功 殿

三田市立高平幼稚園 PTA

三田市立高平小学校 PTA

「高平小学校前」バス停の危険除去および安全対策についての要望書

去る2021年2月に、高平幼稚園園長・高平小学校校長の田中智久先生より、三田市教育委員会に提出されました『高平小学校前「バス停の危険除去及び安全対策について」(意見書)』(下記、添付書類の1)について、早急に対応いただきたく、あらためて要望いたします。

上の意見書のとおり、同園同校のとくにバスを通園・通学に利用している園児・児童は、きわめて危険な交通環境の中に日々さらされたままとなっています。また、同意見書および添付して提出されました高平幼稚園 PTA・高平小学校 PTA からの要望書『「高平小学校前」バス停の危険除去および安全対策について』(下記、添付書類の2)のとおり、対策としてバス停周辺の軽微な改修のみによって可能であることを具体的に提案しております。

つきましては、とりかえしのつかない事故発生が予測される状況につき、早急にご検討いただき、危険除去および安全対策を講じていただきたく、三田市立高平幼稚園 PTA・三田市立高平小学校 PTA より、あらためて要望いたします。

記：添付書類

1. 要望書：「高平小学校前」バス停の危険除去および安全対策について（高平幼稚園 PTA・高平小学校 PTA）
2. 意見書：高平小学校前「バス停の危険除去及び安全対策について」（三田市立高平幼稚園園長・高平小学校長 田中智久）
3. 要望者連絡先

以上

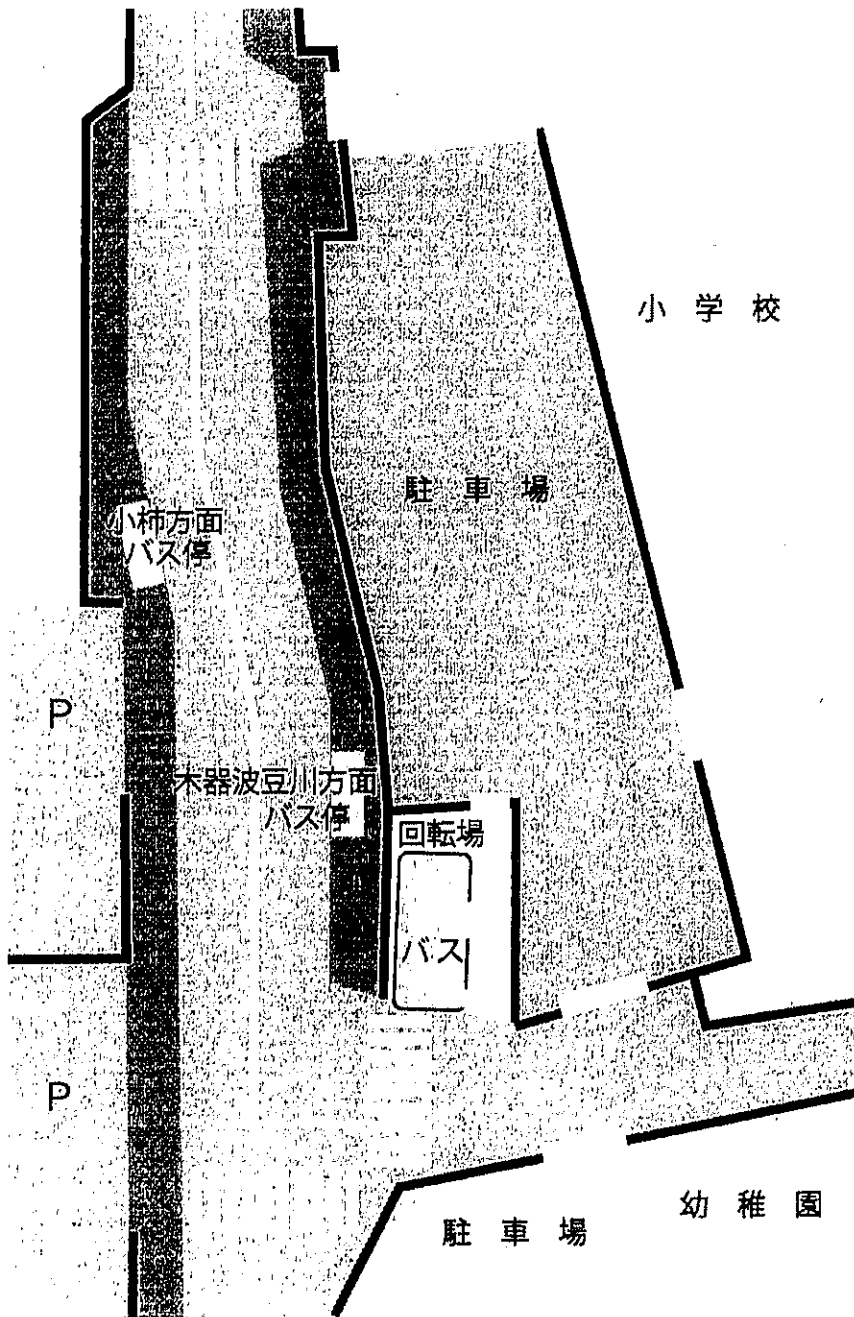
## 要 望 書

「高平小学校前」バス停の危険除去および安全対策について

高平幼稚園 PTA・高平小学校 PTA

2020年12月

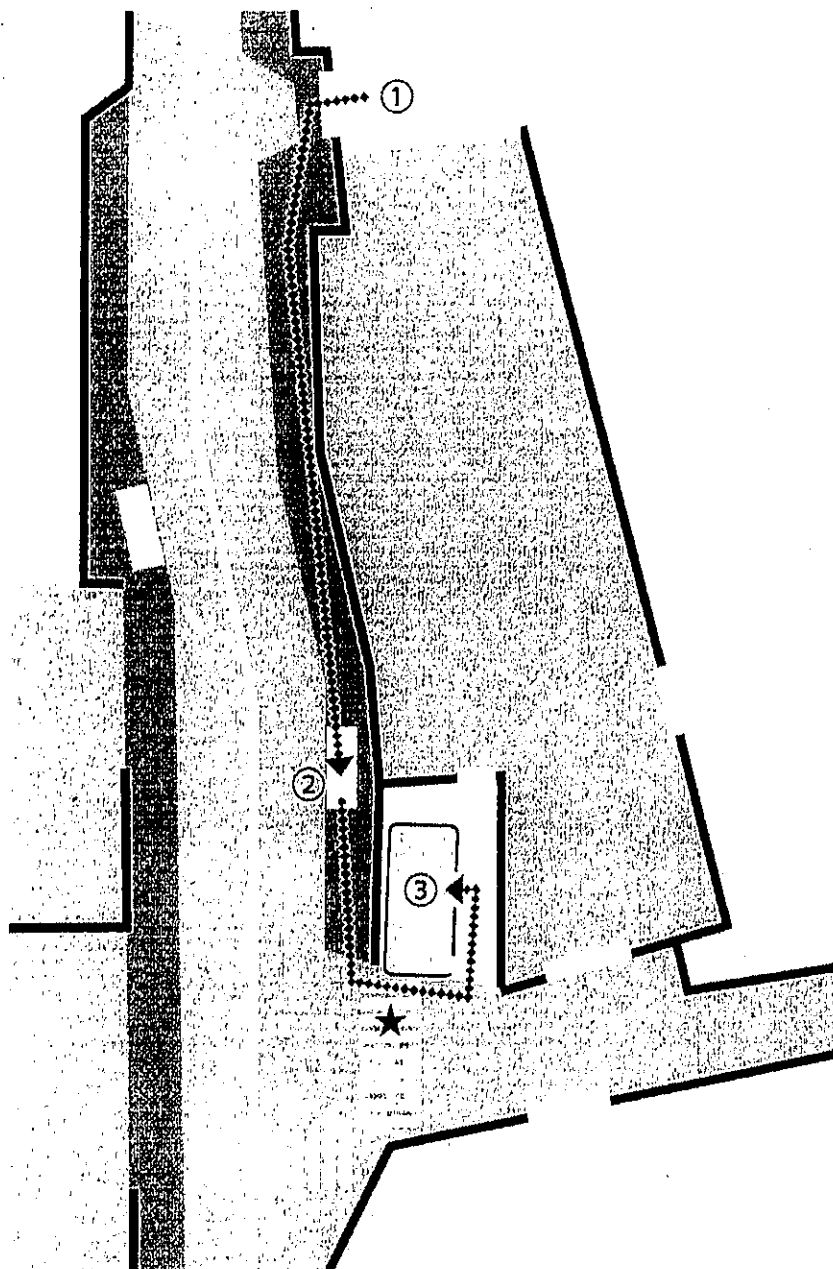
## 1. 現況図



高平小学校・高平幼稚園のバス通園に関し、通園・通学用のバス停は県道三田後川上線に位置する「高平小学校前」を利用している。

このうち木器・波豆川方面行きバスについて、特に転回場に停車するバスについて、それらを利用する際、きわめて危険な状態にあることが、神姫バスとの協議の中で判明したため、県・市・神姫バス・高平小学校・高平幼稚園には、以下のとおり改善し、必要な修繕を行うよう求める。

## 2. 小学生の乗車経路の現状

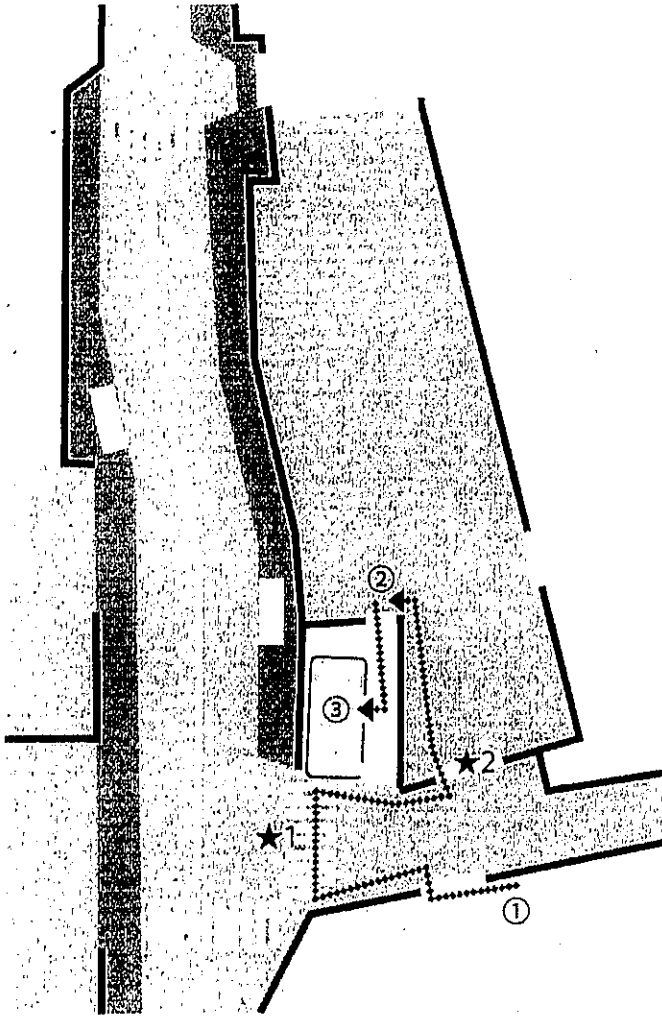


- ①校門よりバス停まで歩道を進み、バス停でいったん集合する。
- ②バスが転回場に停車したのを確認する。
- ③バスの前方を横切って、転回場に進み乗車する。

### 安全上の問題点

★部でバスと生徒の導線が交錯しており危険。特に、低学年児がバスが発発直前であることに気づき、バス直前を横断しようとした場合、運転手はその存在を確認することが極めて困難であり、きわめて危険。

### 3. 幼稚園児の乗車経路の現状



①交通指導員の誘導により、園の駐車場門より横断歩道を渡り、小学校駐車場門より転回場のフェンスに沿って進む。

②交通指導員とともに、フェンス外の待ち合わせ場所で、待機する。

③バスが転回場に停車したのを確認し、交通指導員の指示により、転回場裏のフェンスの出入り口を開け、乗車する。

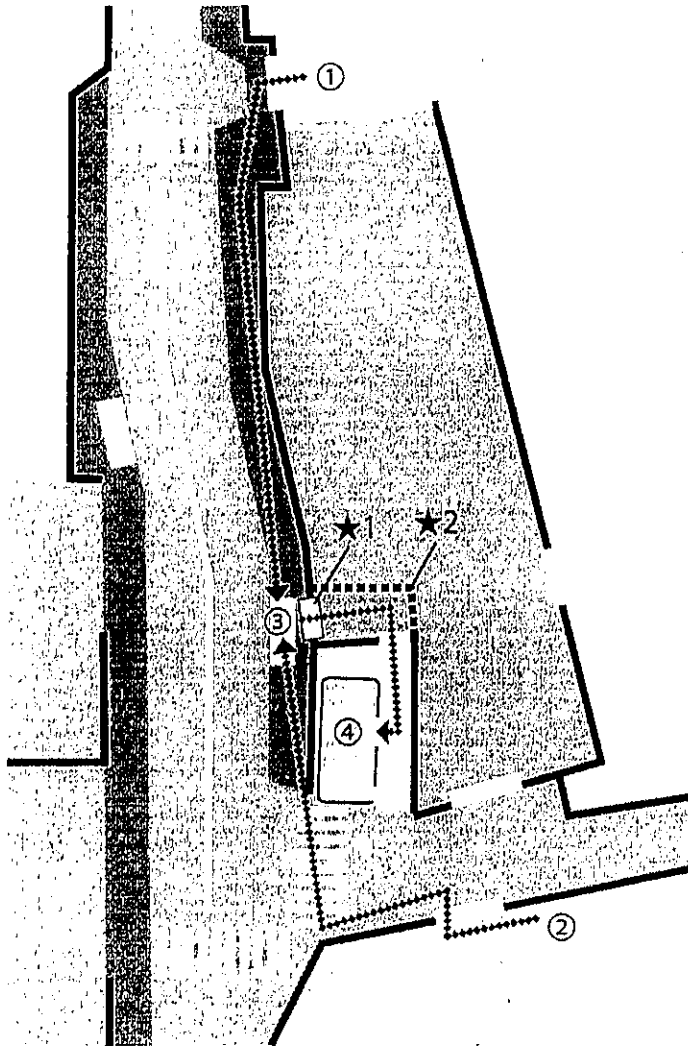
#### 安全上の問題点

★1 で転回場に入場するバスと園児の導線が交錯しており危険。

★2 で児童生徒を迎えにくる自家用車とのすれ違いがあり危険。

2. の小学生の待機場所と、3. の園児の待機場所が異なっているため、バス運転士が乗客の存在を正確に確認することが困難であり、また児童生徒以外の一般乗客も乗車位置を把握しがたく、結果、乗り逃がしがたびたび生じている。

#### 4. 改善策



小学生は、これまでどおり①校門よりバス停に進み待機する。

幼稚園児は、小学生同様②バス停に進み待機する。

★1 バス停裏のフェンスを一部開放し、開放箇所から★2 転回場裏のフェンスの出入り口までを、縁石線又はさく類によって駐車場と分離し、③バス停から④転回場乗り場まで安全に移動し乗車できるようにする。

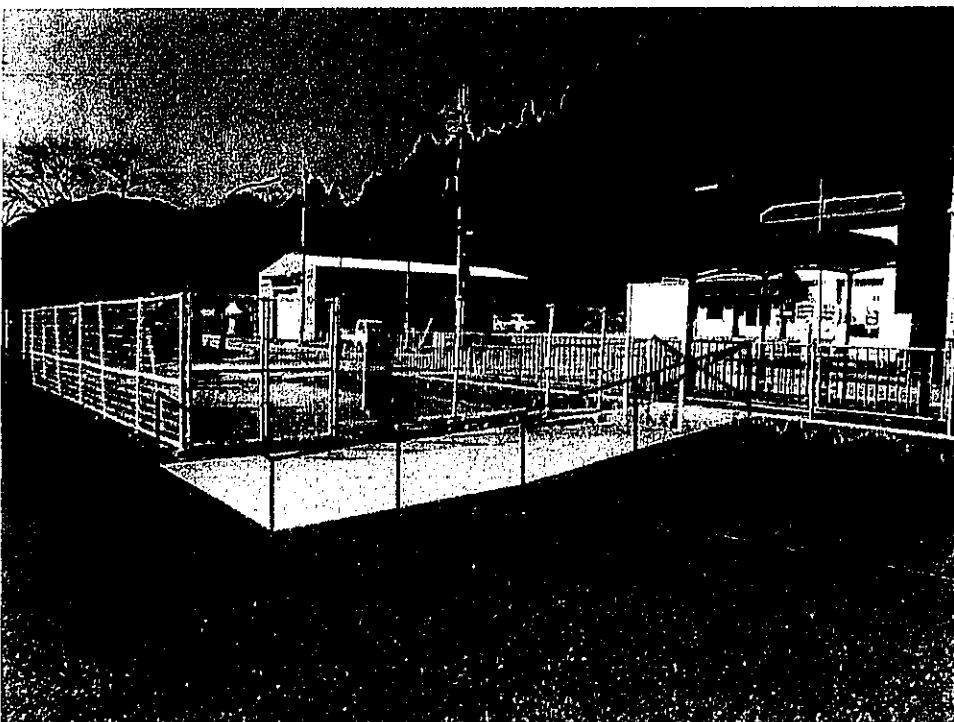
これにより、導線が整理され安全性が著しく高まり、かつ、バスを待つ場所が安全なバス停のみとなることで、児童生徒・一般乗客およびバス乗務員にとって乗り逃がしのリスクを大幅に減らすことができる。

また、必要な工作は、フェンスの一部撤去、バス停箇所と小学校駐車場箇所の段差の解消、小学校駐車場とフェンス裏出入り口までの通路の縁石等による分離、と比較的軽微なものにとどまるため、実現のコストはごく限られたものにとどまる。

参考図 1. 現況写真



参考図 2. 改修イメージ



フェンスを撤去し（赤×部）スロープを設け，駐車場と分離する。

三田市立高平幼稚園長・高平小学校長  
田中 智久

高平小学校前「バス停の危険除去及び安全対策について」(意見書)

平素より、本校園の教育にご理解とご支援を賜り深くお礼申し上げます。

さて、本校園の多くの子どもたちは、神姫バスを利用して毎日、登降園・登下校をしています。そんな中、「高平小学校前」止めのバス停留所から高平幼稚園及び高平小学校に入るまでの子どもたちの動線において危険な状況の箇所が存在しています。今回、高平幼稚園PTA並びに高平小学校PTAの連名にて、添付の要望書が校園長に提出されたのを受け、当該校園長としての考えを意見書という形で報告いたしたく存じます。

子どもたちが置かれている現状を知っていただくとともに、子どもたちの登下校時の安全を確保していくために、ぜひとも対策を講じてくださいますようお願いいたします。

以下、その詳細を記します。

記

1. バス利用通学児童・通園園児の状況について

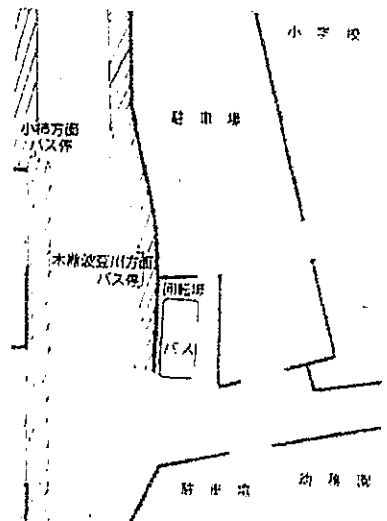
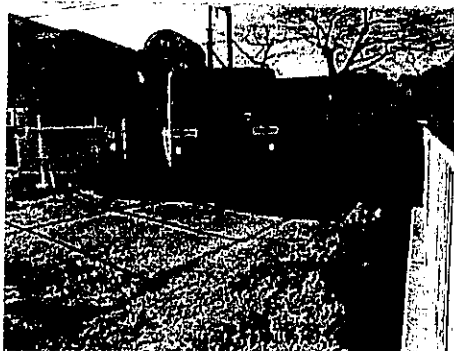
① バス利用通学児童・園児数 【人】…園児数

	小楠発着⇄高平小	三田駅発着⇄高平小	波豆川発着⇄高平小		合計	
令和2年度	26人	11人	25人	【7人】	62人	【7人】
令和3年度	27人	10人	27人	【5人】	64人	【5人】

※令和3年度については見込み数

② 高平小学校前(止め)・(発)のバスの回転場(停留場)の様子

・高平小学校前(止め)(発)のバスの回転場(停留場)は、主に波豆川発着のバスが使用します。上記の表の黄色部分の子どもたちが乗り降りします。





## 2. 危険と判断する状況について

### 小学生について

(ア) **登校時**…バス降車後、バスの前を通過して「主要地方道三田・後川上線」沿いの歩道に向かう。その時、子どもたちは、車道にはみ出さざるを得ない状況であり危険である。また、現場はT字路になっており、見通しがよくない。自動車の往来もちよくちよくある。

(イ) **下校時**…回転場（停留場）にバスが止まり、子どもたちを待っている。子どもたちは、上記（ア）とは逆の動線でバスに乗り込むことになり、バスの前を通る時は、たいへん危険な状況になる。また、低学年と高学年のバス利用時刻は違う日が多く、教職員が毎日指導に就くことは難しい。



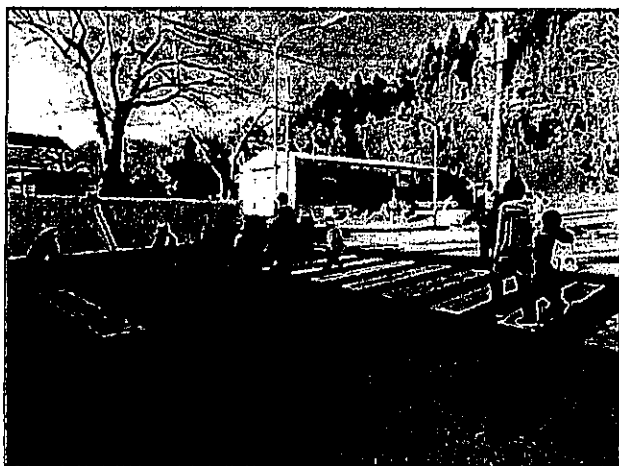
### 幼稚園児について

(ア) **登園時**…バス降車後、通園交通安全対策誘導員の付き添いのもと、バスの横でいったん整列をする。小学生が行き終わった後、小学生と同じく道路をはみ出す形でバスの前を通り、横断歩道まで進む。

(イ) **降園時**…通園交通安全対策誘導員の付き添いのもと、幼稚園と小学校を結ぶ横断歩道を渡り、小学校の駐車場出入口から入り、駐車場を通過して回転場（停留場）の後ろフェンスのところでバスが来るのを待つ。誘導員が付き添っていると

はいえ、駐車場の出入口から入り、駐車場を通ることはたいへん危険である。駐車場出入口付近は、自動車の運転手目線で見ると、通用門の壁が邪魔をして見通しが悪い。

#### 《登園時》



#### 《降園時》



### 3. 学校長の考えとして

毎日の登下校時（登降園時）において、これまで学校（園）長をはじめとした教職員、通園交通安全対策誘導員（幼稚園）、また、地元駐在所の警察官によって子どもたちの安全を確保するための対応を行ってきました。しかし、毎日のことであり、すべての者が対応できない日もあるのが現状です。子どもたちが交通事故に遭わないように今後もできる限りの対応を行っていく所存ではありますが、前述のような危険と判断せざるを得ない状況については、早く改善していく必要があると考えます。特に、停車しているバスの前を横切る状況は避けるべきですし、幼稚園の降園時に駐車場の出入口から園児が入ることはなくすべきだと考えます。

具体的な案については、小幼PTAの要望書にある案が適切かと思えます。

- ・道路に面した木器波豆川方面のバス停から、小学校駐車場にかけて、階段またはスロープを付ける。
- ・駐車場とはフェンスまたは手すりで見え分けをつける。
- ・回転場（停留場）に止まるバスの後方から、バスに乗り込む。

ぜひとも、現在の状況をしっかりと把握していただくとともに、危険を除去し、子どもたちが安全で、安心な登下校（登降園）ができますよう対策を講じていただきますようお願いいたします。

添付書類 3. 要望者連絡先

要望者団体名：

- (1) 三田市立高平小学校 PTA
- (2) 三田市立高平幼稚園 PTA

要望者団体代表者（会長）署名：

(1)

[Redacted Signature]

(2)

[Redacted Signature]

要望者本件担当者（連絡先）：

[Redacted] (1) 669-1413 下槻瀬 [Redacted]

電話： [Redacted]

メール： [Redacted]